

国際宇宙探査に関する東京原則（仮訳）
（2018年3月3日）

宇宙探査は新たなフロンティアを探索する究極の挑戦であり、宇宙における人類の活動領域についての感覚を広げるものである。

最先端の科学技術と工学を発展させるとともに、将来の宇宙探査の道筋を整え、地球上の人類に利益をもたらす革新的な機会となりうるものである。

これらの利益の中には、将来の科学的発見の促進、先端技術の開発と応用を通じた宇宙空間及び地球上におけるグローバルな挑戦への対応、挑戦的かつ平和的な目的の共有によるグローバルパートナーシップの創造、協力による、あるいは個別の取組を通じた若い世代を中心とした社会の啓発、そして経済発展の促進と新たなビジネスの機会といったものがある。

過去半世紀もの宇宙探査の進展の大部分は国際協力なくてはなしえなかったものである。宇宙探査は、大小多数の、行き先も目的も異なるプログラムやプロジェクト等の集まりであり、様々な技術により実現されうるものである。協働は個々のプロジェクトも全体としての取組も強化するものである。

国際宇宙探査の共通原則は、持続的、効果的、効率的な国際協働を促進し、全人類に利益をもたらすものである。参加国は、以下について確認する。

- ・ 平和目的と人類への利益
 - 全人類の共通的な関心事項
 - 科学技術、啓発的、経済的な機会
 - 宇宙探査の研究や技術開発が地球上の人類にもたらす利益
 - 「月その他の天体を含む宇宙空間の探査及び利用における国家活動を律する原則に関する条約」の順守

- ・ 科学
 - 探査は科学を可能とし、科学は探査を可能とする
 - 科学の専門知識の太陽系探査への活用

- 実行可能性、発展性、経済性の確保
 - 短期的には現状の資金による、長期的には経済状況に見合った資金による、実行可能性の確保
 - 有人・無人の宇宙探査ミッションの相乗効果
 - 各国・機関における財政的実現性の確保

- 野心的、啓発的な取組
 - 科学技術の限界を広げる挑戦
 - さらに遠くへ新たなフロンティアを探求し、新たな発見を求め、宇宙における人類共通の活動領域を広げる試み

- 各国・機関における宇宙政策やプロジェクトの尊重
 - 各国・機関における宇宙政策やプロジェクト

- 国際的な協力・協働の促進
 - 調整とパートナーシップを通じた協力・協働
 - オープンでフリーな科学データの共有方針の推進

- 一般国民との関わり
 - 全人類が関心を持つための太陽系の有人探査
 - 学术界、民間セクターとの協力

- 経済の拡大
 - 民間による経験と商業基盤蓄積の機会
 - 新たな市場、商業サービス、スピノフの創造の機会

- 宇宙環境の維持
 - 天体を含む宇宙空間の保護

- 継続性
 - 科学的な目標に沿った適切な有人・無人活動の定期的実施による国際宇宙探査の継続
 - より複雑で高度な有人・無人統合ミッションに向けた段階的な能力獲得